

不動産のための数学と統計 学習要領

1 概要

2016年度の数学系の卒業演習においては、主に不動産の価格算定に関連する基礎的な数的処理能力を試す。

具体的には、①建築計画（ボリュームの算定）、②測量（面積の算定）、③不動産評価手法（収益価格の算定）、④基本統計量（データの見方）の4つの項目に対する理解度を確認する。

2 出題範囲

明海大学不動産学部編纂『不動産のための数学と統計 Ver.5.1』からの出題となる。過去の問題は、以下の4項目から主に出题されている。

- 第4章 建蔽率と容積率
- 第5章 割合・比率を使いこなす
- 第13章 時は金なり
- 第18章 変量間の関係や分布内の格差を測る

3 教科書・参考書

明海大学 名誉教授 林亜夫『不動産のための数学と統計 Ver.5.1』

テキスト代金 1,000 円（第2管理・研究棟 不動産共同研究室にて証紙と引換に販売）

以 上